

せとうち DMO NEWS

地域や事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
101

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評されたせとうち



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。

わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。

その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO

発行日：2024年11月28日

発行：せとうちDMO

発行人：小原・京極

住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

SETOUCHI REFLECTION TRIP

<https://www.setouchi.travel/en/>

瀬戸内Finder

<https://www.setouchi.travel/jp/>

第2回理事会及び社員企業意見交換会を開催しました。

せとうち観光推進機構は10月25日(金)JRホテルクレメント徳島(徳島県徳島市)にて、理事会を開催し、11月14日(木)TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅北口(広島県広島市)にて、社員企業意見交換会を開催いたしました。

当日は各県及び社員企業の皆さまに現地出席・オンライン参加をいただきました。

会議では、2025年度事業計画(案)や成果目標の見直しについての協議を行うとともに、事務局から「せとうちエリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり進捗報告を行い、皆様と意見交換を実施いたしました。

理事会



【理事会付議案件】

- ・第1号議案
2024年度事業計画及び収支予算の変更に
ついて

【協議事項】

- ・2025年度事業計画(案)について
- ・成果目標の見直しについて

【報告事項】

- ・2024年度職務執行状況報告等
- ・「せとうちエリア」における高付加価値な
インバウンド観光地づくり進捗報告
- ・各県要望への対応

社員企業意見交換会



【意見交換事項】

- ・2024年度事業計画及び収支予算の変更に
ついて
- ・2025年度事業計画(案)について
- ・成果目標の見直しについて

【報告事項】

- ・2024年度職務執行状況報告等
- ・地方における高付加価値なインバウンド観光地
づくり進捗報告

JNTO主催 高付加価値旅行関係者 国内ネットワーキングイベント（商談会）が開催されました！

観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」（以下、「モデル観光地事業」という）の選定エリアを対象とした商談会イベントが10月23日（水）、日本政府観光局（JNTO）主催のもと、東京にて開催されました。

この度はせとうちエリア単独開催で行われ、商談会場には18社のバイヤーと16社のセラーが集いました。

Program

@ステーションコンファレンス東京

13:00～13:40 開会挨拶、プレゼンテーション

13:50～17:45 商談会

商談会のコンセプトは「高付加価値旅行」で、各商談の持ち時間は15分

バイヤーは高付加価値旅行者層を顧客に持つ旅行会社・DMCが参加し、セラーは当機構からモデル観光地事業関連事業者の方々にお声をかせていただきました。



当日は当機構からも3名出席

商談前のプレゼンテーションでは、田原グループマネージャーが登壇しました。

せとうちエリアの紹介やアクセスの良さ、そして参加セラーに関係するコンテンツも絡めながら魅力を伝えることで、その後の商談にも繋がりやすいとセラー・バイヤーの皆さまから好評をいただきました。

（右）熱く語る田原グループマネージャー

（下）せとうちDMCもこの度、セラーとして参加しました。



商談を通じて参加者の方々からは、バイヤーのニーズや関心などを深く知ることができ、またリレーションも構築できたため今後のビジネスに繋がらそうとの満足度の高いお声を寄せられました。

当機構としても、今後ともこうした機会を最大限に活用しながらエリアの自治体・観光関連事業者の皆さまと緊密に連携を図りながら、せとうちの魅力をより力強く発信してまいります。

アメリカとオーストラリアの現地旅行会社を招請して FAMツアーを実施しました！

去る10月中旬から下旬にかけて、誘客グループが担当している「高付加価値旅行者層へのせとうち地域周遊旅行商品 販売促進事業」の一環として、アメリカとオーストラリアの現地旅行会社をそれぞれお招きし、FAMツアーを実施いたしました。

このFAMツアーは、せとうち地域の周遊旅行商品の造成と販売促進を目的としたものです。山口・広島・愛媛の西コースと兵庫・徳島・香川・岡山の東コースをそれぞれ周遊し、各県の魅力的な観光スポットや各種体験、宿泊施設の視察を行いました。



山口：萩の街並み



山口：大谷山荘 別邸音信



広島：SEA SPICA



愛媛：臥龍山荘



兵庫：白鶴酒造資料館



徳島：藍染体験



香川：金丸座



岡山：倉敷美観地区



岡山：備前長船刀剣博物館

※写真は全行程から一部抜粋

参加した旅行会社のご担当者様からは、「体験内容が素晴らしく、今後の商品造成に向けて必ず利用する」「全体的に非常に満足したFAMツアーだった」という評価をいただき、せとうちエリアの旅行商品造成に向けて新たに一步前進したと感じております。

今後は、商品化に向けて連携旅行会社への事業を通じたフォローアップを行い、せとうちへの誘客増加を目指してまいります。

万博を活用したせとうちエリアへの誘客加速化事業の FAMツアーを実施しました

2025年の「大阪・関西万博」の開催を見据え、事業内で造成した商品の販路拡大等を目的として、2泊3日のFAMツアーを9月～10月にかけて3回実施いたしました。

参加した旅行会社等6社の担当者からは、「すべての場所が初めての訪問先で、大変勉強になった。」「移動手段（船）まで視察として盛り込まれていたため、より効率的にせとうちエリアについて学ぶことができた。」「宿泊施設で様々な体験ができるようになっており、そこから生まれる付加価値によりお客様にも満足していただける。」等の感想や評価をいただき、手応えを感じることができました。

せとうちの多種多様な魅力を伝え、商品化を通じた誘客促進など、引き続き事業を通じた地域の皆様との連携を推進してまいります。



広島：対潮楼



岡山：桃蹊堂



兵庫：西山酒造場



香川：とくと



徳島：松浦酒造



兵庫：淡路夢舞台



愛媛：天神産紙工場



山口：下関酒造



山口：秋芳洞

【行程】※視察箇所を抜粋。

①9/17-19 広島・岡山・兵庫

下瀬美術館、藤井酒造、対潮楼、辻本店、倉敷美観地区、桃蹊堂、西山酒造場、有馬温泉

②10/1-3 岡山・香川・徳島・兵庫

UNOHOTEL、とくと、豊島美術館、ふくや呉服店、栗林公園、松浦酒造、福寿醤油、爽快クルーズ、禅坊靖寧、淡路夢舞台

③10/8-10 山口・愛媛

内子の町並み、天神産紙工場、大洲城下町ツアー、道後温泉、大谷山荘、下関酒造、元乃隅神社、秋芳洞

クルーズに関する海外調査報告②ドゥブロブニク編

10月号に引き続き、観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業の一環で実施したクルーズに関する海外調査の報告をいたします。今回はクロアチアの港町「ドゥブロブニク」で行った2件の旅行会社へのヒアリング調査と街並み調査の内容となっています。

【調査期間】2024年9月18日～28日

【調査対象エリア】右記の3都市



①Klik Holidays

クロアチアのドゥブロブニクを拠点とする旅行会社で、16世紀の古い船をモデルにした「カラカ船」を5隻所有し、主にカラカ船を利用したクルーズツアーを提供している。

■事業の状況について

- ・乗船するお客様は島での特別な体験を求めており、60%がインバウンドで40%が国内観光客
- ・ドゥブロブニクは欧米人が元々多いが、歴史的な探検クルーズを求める人はアジア圏の人が多く
- ・繁忙期には1隻あたり10人のスタッフ（閑散期は5人と調整している）
- ・カラカ船は社内研修などにも使い最大1000人まで対応できる（1隻に200人×5隻でMICEのようなものにも対応）

■季節性について

- ・繁忙期は6月から9月下旬、閑散期は4.5.10.11月。12.1.2.3月は運休
- ・冬は島に行っても見るものがない。歴史的なものを見せたりウォーキングをメニューに入れている
- ・冬は月水金のみ運行しているが、繁忙期は毎日運航している

■事業課題について

- ・天候のリスクと季節性（一年通してできないこと）が課題だと思う



【カラカ船】



【カラカ船内にて面談】

②Applicon Tours

ドゥブロブニクを拠点とする旅行代理店で、観光、トランスポート、MICEなどの多岐にわたるサービスを提供。特に大型クルーズ船の受入には注力しており、ドゥブロブニクを訪れるクルーズ客のエクスカージョンを一手に担っている。クルーズ担当のチームが存在する。1日最大1,500人の受入を可能としており、クルーズ客の送迎からツアー提供まで行う。

■事業の状況について

- ・メガクルーズ客は約4割が現地ツアーに申し込む
- ・メガクルーズの受入れは3年前から船社への入札制になっている
- ・旅行商品は、現地の文化や歴史に精通したガイド付きツアーや乗馬ツアー、自然ツアー、マリナクティビティ、グルメツアーなど様々なツアーを用意している

■ドゥブロブニクの観光事情について

- ・飛行機で来る方が安いものもあり、フライ&クルーズの移動手配も行う
- ・2022年は343隻のクルーズ船の寄港があり、約50万人が来訪
- ・直近では年間約70万人が海から（クルーズで）来訪している



【一度に停泊できるのは2隻まで】



【面談の様子】

クルーズに関する海外調査報告②ドゥブロブニク編

<街並み観察調査>

ドゥブロブニクの港湾整備、周辺環境、観光動向等について調査。一部を抜粋してご紹介します。

プライベートクルーズ



- ホテル近辺や観光名所にクルーズの案内所が設けられており、観光客が気軽にクルーズを申込みできるようになっている
- アドリア海は水がとても美しくエメラルドグリーンの世界が広がっている

- プライベートクルーズは、3時間貸切でアイランドホッピングツアーや、カヌーなどのマリナクティビティなど様々なサービスを楽しむことができる
- 立ち寄った小さな島には、TUIグループのホテルが島に1棟あり、欧米シニア層の利用が多い様子

エリア開発



- プライベートクルーズで周遊すると海沿いに5つ星リゾートホテルが立ち並んでおり、欧州からバカンスシーズンに長期滞在する観光客が多く利用している
- ホテル周辺にはオープンテラスのレストランが立ち並び、雨の日も移動式屋根があり、リゾート空間は演出されている

- ビーチはほぼ存在せず、海に面している部分は岩場となっているため、あらゆる岩場を活用してカフェやレストランがつくられており、非日常的な空間が演出されている

周遊クルーズ出発地点の街並み



- 旧市街を取り囲む周囲約2Kmの城壁に登るには、一人35€の入場料が必要。見るだけでも有料にすることで価値をあげている
- 旧市街の観光名所のすぐ脇に船着き場があり、周遊クルーズの案内所も設置されている。
- 船着き場の目の前にはレストランやカフェが立ち並び、船の行きかう風景も楽しむことができる

せとうちアカデミー報告

第115回せとうちアカデミー：伝え、受け継ぐ ～創業175年、老舗酒蔵の新たな挑戦～

日本酒業界では、環境や嗜好の変化による消費量の減少にともない、酒蔵の廃業が続いています。

兵庫県丹波市で1849年に創業した西山酒造場。

代表銘柄「小鼓」は俳人高浜虚子が名付けるなど、多くの文人墨客らに愛された酒蔵です。

175年の歴史に根差し、2024年8月、酒・発酵・芸術の複合施設 鼓傳-koden-を開業されました。

これまでの歴史や鼓傳開業に至る背景の話を通じ、西山酒造場様が思われる酒蔵のこれからの役割について、お話いただきました。

- ◆講師：(株)西山酒造場 取締役女将 西山 桃子 氏
- ◆日時：2024年11月8日(金) 14:00～15:00



第116回：「せとうちエリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり

観光庁では、今後のインバウンドの本格的な回復を見据え、消費額増加、地方への誘客をより重視するという観点から、訪日旅行における消費単価が高い傾向にある高付加価値旅行者の地方への誘客を促進することとしています。

2023年3月、この高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援等を行うモデル観光地が観光庁に選定されました。その一つが「せとうちエリア」です。

今年4月には、モデル観光地の取り組み方針を定める「せとうちエリアにおけるマスタープラン」をせとうちDMOにて作成しています。

今回のせとうちアカデミーではこのマスタープラン推進の中間報告として、本事業の推進状況についてせとうちDMO専務理事の坂元よりご説明いたしました。



- ◆講師：(一社)せとうち観光推進機構 専務理事/事業本部長 坂元 浩
- ◆日時：2024年11月21日(木) 14:00～15:00

